

宇部幸楽苑広報紙

幸楽苑だより

10号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
 発行日：令和6年 10月1日
 TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522

『明るく優しく敬意をもって』

看護主任 山本 千代子

「熱中症警戒アラート」（命に係わる危険な暑さ）と、ニュースのアナウンサーの声掛けに恐れを感じていた夏、9月は暑さを引きずっていましたが、少しずつ日も短くなり、暑さも和らいできたように思います。

幸楽苑の離床活動の貼り絵や塗り絵も向日葵の夏の花から菊やコスモスに模様替えですね。

さて、幸楽苑は平成5年に設立され、今年で三十一年になります。老人保健施設・宇部幸楽苑は、在宅復帰施設で、在宅に向けてリハビリに励むところです。しかし、入所に至る経緯には、いろいろな事情があり、在宅は難しい方もおられます。

慢性疾患を抱えて入所される方が多く、医療行為が必要な方も多くなりますが、看護師が二十四時間おりますので、安心して頂けると思います。幸楽苑では、音楽療法を中心に勤務している看護師もおり、入所者の心の安定にもつながっていると思います。それぞれの職種が協力してご利用者の援助に関わっています。

各職種間での協力体制は幸楽苑の持ち味だと思います。

冒頭の「明るく 優しく 敬意をもって」は、私が本苑設立の翌年に入職した時に、既に壁に提示してあり、大好きな言葉です。元気に明るく笑顔で挨拶を心掛けています。

二〇二〇年、新型コロナ感染症の流行と共に、出勤時のマスク使用が義務づけられ、仕事中はマスクをしています。コロナ流行前までは、歯をむき出して笑顔になっていたように思います。自分の笑顔でご利用者も笑顔にしたいと努力し、つられて笑顔になってくれる方もいました。

今は、顔半分を隠してしまい、笑顔に自信が持てませんが、マスクの下は笑顔です。ご利用者に寄り添い、ご利用者の一日、一日を大切に、穏やかに過ごせるように多職種と協力しつつ今後も努力して参ります。



《基本理念》

私たちはサービス提供者として、常に、地域社会における入所者様・ご家族並びに利用者の立場に立って考え、最善の行動を致します。

《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。

「敬老の日、おめでとぅございます！」

今年もつつがなく敬老の日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。当苑でもめでたく百寿・米寿を迎えられた方が其々一名ずついらっしゃいましたのでささやかなお祝いの会を催しました。

この度、百寿を迎えられた方に『長寿の秘訣は？』という問いかけをしたところ、こんな回答を戴きました。

「今思えば、50代ごろから病気もケガもしたことが無く、医者のお世話にはならなかった…食事も好き嫌いなく、何でもしっかり食べる事かな？」と笑顔でおっしゃっておられました。

これからも一日でも長く元気で過ごされるように、スタッフ一同協力して参ります。



おめでとう
ございます

「新人職員の紹介」

はじめまして、7月より看護師として入所した、大垣省二といいます。以前は病院の療養・回復期の病棟で看護師をしておりましたが、施設看護を学びたいと考えここに、転職をして参りました。自分の抱負は、やさしい看護を入所さん一人一人に実践していくこと、消極的な考えはせず、前向きに向上心を持って仕事に取り組むことです。分らないことばかりで不安もありますが、常に学ぶ姿勢で何事にも立ち向かい、成長していきたいです。

よろしく
お願いします

「徒然なるままに…」

看護師 小松 満代

朝、夕と幾分涼しくなり、秋の気配を感じます。

最近、ふとした瞬間に手の痛みを感じる事があります。それは昨年の骨折の後遺症なのだと思います。病氣らしい病気もしなかった自分ですが、昨年は、一年間で二度の骨折を経験しました。一度目は孫とバドミントンをしている最中の転倒、その四か月後にはスーパーの駐車場で、大荷物を抱えたままバランスを崩して派手に転倒（荷物は散らばりましたが、卵は死守して割れませんでした）。自分では体勢を立て直せると思っていたのに、景色がスローモーションの様に変わっていき、気づけばアスファルトの上に横たわっていました。気づけば行動が反比例です！自分でもびっくりでした。転んだだけで本当に簡単に骨って折れるものなんですね…。体は正直です。年齢を重ねていることを実感しました。今後も年は増えていくばかり…。

若くなる事は望めないけど、

まだまだ孫と一緒に遊びたいし、その為には、足腰を鍛えて「老い」に抗って行こうと思っっている今日この頃です。

